東洋本位に還元の我外交の畫期的轉換
帝國外務省立案中の新原則
聯盟至上主義放擲

【東京廿八日發國通】外務省では今回の聯盟脫退を機會として、我が外交史上に特筆すべき劃期的外交轉換を試みる事となつたが、目下外務首腦部間に考慮されて居る新原則は次の如くであると謂はれて居る

一、聯盟至上主義の概念外交は、永久に放棄し、將來如何なる場合と雖も聯聯に復歸せざる事、從つて聯盟の名に於て將來司會さるる政治的國際會議には斷じて參加せざる事

一、聯盟外に於て關係國國際會議を開催し、軍縮問題、仲裁裁判條約、不可侵條約若くは安全保障協定等國際平和確保の實際的方法を講ずる場合は欣然應諾すること

一、聯盟外交の缺陷暴露に鑑み、在外公館の根本的整理及外交官の任用令改正を斷行する事、即ち日支紛爭處理に當り、聯盟に於て我が方に對し、無理解、且つ非友誼的意志表示をなせる小國に對しては考慮を新にする必要を認め、大公使に代ふるに書記官級人物を以てし、外交の重心を大國に集中する目的で、ロンドン、ワシントン、若くばパリ大使の下に公使級若くは參事官級人物數名宛配置して外交の合理化と經濟化とを計ると共に、外交官、の任用令を改正し自由採用主義により、廣く人材を天下に求むる事

一、從來歐米殊に英米協調主義は敢て之を排擊する要無きも、外交政策の根幹を純然たる極東本位に還元せしむる事

日滿が長城內に作戰を及ぼす場合

【東京廿八日發□通】日滿軍が勢の赴く所遂に長城以內に進攻し來りばせぬかとは、內外人現下の最大ポイントとなつて居るが、我軍は再三の聲明通り原則として熱河內の反滿軍討伐を唯一の目的とする然し乍ら日滿軍の討伐に際ひ熱河省內に進入して居る學良軍隊が撤退する場合はよいが

一、熱河省に更に兵力を增加して抗日行動に出で來る場合

二、滿洲口と支那□境たる長城にて日滿軍と支那軍が對峙狀態になる場合

三、學良の飛行機が北支方面にその根據地を置き、熱河の作戰に參加し來る場合

四、北支方面が熱河の影響を受けて擾亂狀態に陷り、我が居留の生命權益が危殆に瀕した場合

之等の場合は止むを得ず我軍の作戰を□境外に及ぼし、斷然たる措置を執るものと豫想されるが軍部は萬全の處置を執る可く愼重考究中

紗帽山陣地を挾み一大激戰展開せん
綏中部隊白石嘴邊門を占領

【白石嘴邊門廿七日發國通】紗帽山方面の陣地から斷續して打出す敵の威嚇砲擊を遙か彼方に聞き乍らしばし疲勞を休めた米山先遣隊は夜も

＝未だ＝明けやらぬ午前四時早くも旺盛武裝を整へ宿營地大李家屯を出發、谷支隊と互に連絡を保ちつつ闇夜の街道を暴明りを頼りに一路北を指して急前進を開始した、拂曉白石嘴邊門の陣地にある第百十九師孫德全と僞勇軍鄭桂林の混合部隊に遭遇、直ちに攻擊を開始した、敵は銃砲を亂射して頑強なる抵抗を試みたが我が將兵は雨と降り注ぐ敵彈を物ともせず前進又前進、遮二無二敵陣に肉迫し粉碎すべき大激戰の端が展開された

流石の敵も我軍の勇猛果敢なる攻擊に對し多數の死傷者を遺棄したまま遂に第一線陣地を棄てて退却を開始した、時に午前七時半榮ある日章旗は萬歲の聲と共に熱河省境白石嘴邊門の上空高く揭げられ、折から東の方遙かにきし上る旭日に照り映え

＝壯嚴＝の氣みなぎる白石嘴邊門を占領した米山先遣隊は、息をもつかず、直ちに急追又急追、敵に踏止る暇を與へず午前十一時敵の本陣地紗帽山の手前一里の卡路營子を占領更に進んで孫德全、鄭桂林兩軍主力の據る紗帽山の陣地の直前に出て散開、攻擊を開始したが、敵陣地は天險を利用し

飛行機の食料輸送
朝陽で大成功

【朝陽二十七日發國通】朝陽に入城せる我軍は給與難に陷り高粱飯を常食とする事に覺悟をきめてゐた折柄錦州兵站部から白米、罐詰其他食料品を滿載せる滿洲航空會社の旅客機籐勇航空隊及愛國輪送機七臺は二十七日午前十時正午の二回に亘り朝陽上空に飛來し氷結せる大淩河上約三米の最低空飛行を試み氷上に食料品を投下して朝陽に於ける我軍の食料難を救つた、飛行機による食料輸送は昨年馬占山討伐に行つて以來今回が第二回目である

絕緣の聯盟が今後どう出て來るか
我外務當局の觀察

【東京二十八日發□通】我が代表部の聯府引揚げで我□は聯盟と事實上絕緣したが今後聯盟がどう出るかに就き外務當局は左の觀測を下してゐる

一、熱河問題では聯盟ばかりが、何處からも抗議書も警告も出ない、熱河討伐は戰爭でもなく事態の新たなる擴大でもなく當然の結果で列□の靜觀態度は當分續かん

一、聯盟總會が四項を適用し報告書を採擇した以上日支間に戰爭の無い限り此の上新たな措置に出る規約上の根據なし、聯盟は勸告を繰返す事はあつても脫退した以上これに取合ふ義務はない

一、聯盟では交涉委員會のかわりにオランダ、カナダを加へ諮問委員會を設定したが、面目を保つ程度のものに過ぎず

して巧妙に構築された半永久的の堅固なものなる上淩、南方面より來る敵の援兵續々增加され、茲を先途と頑強な抵抗を試み、機會あらば逆襲せんとの氣配をいせ、勢紗るべからず、我も鑑擊陣地を構築遂に正午より陣地戰に移り彼此猛烈な銃砲火を交へつつ夜に入つたが、戰鬪は依然として繼續されて居る凌源方面よりの敵援軍として第百十六第百卅兩師續々として紗帽山に

＝到着＝しつつあり我服部部隊主力、並に谷支隊も漸次前線に參加しつつあり、彼我の主力の一大會戰は目睫に迫つた

學良寶物賣却を
軍資金缺乏緩和と聲明

【北平廿七日發國通】張學良が國民の目を晦まし北平に在つた各種寶物を賣却の目的でアメリカへ持出した事は屢報の通りであるが、最近其の事實なる事判明し各方面より非難されてゐるが飽く迄老獪なる學良はこれに對し「寶物を海外へ持出した事は事實なるも右は決して賣却の目的からで無く現下の國難に處し、軍資金の缺乏を緩和するためアメリカより右寶物を抵當として五千萬元を五ケ年期限で借

天津居留民は現地保護に決す

【東京二十八日發國通】陸軍では皇軍が學良軍を擊破し長城に進出したのち尙抵抗する學良軍をどう處置すべきか、國際關係を考慮して研究中だが、熱河の治安を判然とするには、北支地方に追擊するも止むを得ないと云ふ意見一致し、平津在留邦人の生命財產の保護は出來る限り天津軍にて現地保護の建前なるが、之又學良軍の出樣によれ、危急を告げれば上海事變、濟南事變と同樣に自衞權を發動させ長城を越え關內に進擊せざるべからざる事となり、その際列□軍隊が協力するか、或は變化ある場面を展開しやう

山海關の日本軍萬一を期し嚴戒

【山海關廿八日發□通】石門秦□屯の第百十六師が西北方に移動したとの說は全然虛報で同方面は最近却つて增兵されて居ることが判明した、又石河第一線の支那軍の動靜は前夜來頓に活潑となり、しきりに挑發的態度を示すので在山海關各部隊は萬一の爲め、二十七日夕刻を期して非常警戒の配置につき滿洲國々境警備隊もこと密接な連絡を保ち水を漏らさぬ嚴戒振りである

優秀機三臺を承德に出動せしむ

【北平廿八日發□通】學良は熱河の戰雲漸く濃厚なるに反し、支那軍の士氣揚らず敗北に次ぐ敗北の報に氣を腐らし當地に待機中であつた東北軍飛行隊の最優秀機三臺を二十五日承德に向け出動せしめた尙同機の搭乘者は露人である

北上中の蔣軍後退

【北平廿八日發國通】蔣介石は東北軍援兵に名を藉り自己の軍隊を北下せしめあわよくば平津より張學良を追出し、地盤取りを策して先般來一部中央軍隊の輸送を開始してゐたが江西の共產軍各地に猖獗を極め省內重要都市既に占領さるるとの報あり、之が爲め北上中の中央軍に對し直ちに後退の命令を發したので當軍は

破竹の茂木部隊十二古子占領

【梧桐好懶廿八日發□通】零下廿四度の寒氣を衝いて一路梧桐好懶に向け進擊中なりし茂木部隊主力は、廿七日午後同地を完全に占領し、息吐く暇もなく直ちに同地を出發、南方馬家店、十二古子附近まで前進同地附近にあつた五、六百の敵を擊破し昨夜同地に宿營したが、勇氣凜々たる我が將兵は、露營の夢も短かく今朝霧原をけつて前進した

歇する爲めである而して同廿ケ年を過ぐるも罔難終熄せざれば更に五ケ年の延期をなすべし」と盛んに宣傳を試みゐる

劉桂棠軍の活躍

【承德二十八日發國通】魯北直ちに江西に向け後退を開始したとを發した劉桂棠の魯北義勇軍の先鋒部隊二千は天山に退却せる崔興武の兵匪一千と二十六日午後三時ヘーブルゲン廟で遭遇白兵戰を演じたが遂に同五時半崔の部隊は南方に敗退劉軍は深更天山に入城した

我空軍の爆擊を恐れ支那兵戰意なし

【朝陽廿七日發□通】朝陽を敗走せる萬福亭の第一〇七旅騎兵第三十六旅は敵を亂して凌源方面へ退却しつつあり、敵は我軍の攻擊特に飛行機の爆擊を恐るる事甚だしく今や全く戰意を失つてゐる

王道政治の意義を知り熱河全省民歡喜

【朝陽二十七日發國通】日滿兩國軍と同道熱河に入つた宣撫員は至る處に宣傳ポスターを張り王道政治を鮮明にした宣傳文を撒布し又各都市の有力者と膝を交えて談合し王道政治の徹底に努めてゐるが省民も漸くにして王道政治の意義を知り非常に歡喜してゐる

烈風を冒し偵察を强行す

【錦州廿八日發□通】爆擊に偵察に全能力を發揮して大活躍中の我が飛行隊は昨二十七日の如き風速十數米、黃塵萬丈の惡氣流の中に大飛行を斷行老虎山方面の敵狀を偵察した

山海關の支那軍一萬
我軍に對し挑戰

【山海關二十八日發□通】山海關正面に第六二七團を中心に約一萬の支那軍現はれ優勢を誇りつつ我が駐屯軍に對して輕侮的挑戰狀態を示して居る

馮占海一萬の主力
既に赤峯へ退却

【下窪廿八日發□通】我が軍の下窪占領は既報の如くなるが、同地を占領せるは、茂本部隊の黑谷支隊で○○部隊先遣部隊は興隆地にあつたさ、尙下窪に在つた敵兵は馮占海の主力一萬で我か軍の急追に敵は既に赤岸方面に向け退却した

聖戰の血祭に怪鳥
早川部隊に瑞徵

【朝陽廿八日發國通】早川部隊の北票攻擊が一兩日後に差迫つた二月十九日、夜來の吹雪はまだ止まない、飛行場では腕を撫して天候の恢復を待つて居る、午前九時、道を透つた一羽の怪鳥飛行場目がけて飛び來つた「それ敵機!」と誰やらが叫んだ、と思ふ間も無く見事にその怪鳥は射止められたのである、聖戰を前に控へて皇軍の士氣大いに昂つた

武器禁輸など何も恐れる處はない
日本の進歩を知らぬ者だ
サイモン氏の提案に
關東軍某參謀談

英國下院に於てサイモン外相が勞働黨並に自由黨議員の質問に對し對日武器禁輸問題に就ては他國と目下意見交換中であると答へたとの倫敦電報に關し關東軍某參謀は語る

英米の先進國が何時までも先進國面をすることが既に自己陶酔であり錯覺である極東に對して武器の禁輸をやるといふが歐洲大戰當時日本はどんな役割を務めたが武器製作に對する日本の進步は今日では英米例へ武器の禁輸をやつた處で決して痛痒を感じない寧ろ困るのは英米誠と支那自體である、支那に對する武器の賣込は大正八年の申合せに依つて支那內亂の防止の爲め對支武器輸入禁止をしたが歐洲大戰の末期各國とも競つて武器の製作をやつたので其過剩武器のハケ口を支那に求め折角の申合せも駄目になつて終つた、夫れで昭和四年に對支武器禁輸の申合せを中止し、以來各國競つて支那に盛に輸入してゐる情態ではないか、夫れで結局日本は武器の禁輸を喰へば夫れに刺戟されて武器製作の技術は一層進捗發達を促す以外の何ものでもない、却つてこれに依つて幸するだけである、右の樣な次第で此際日滿兩國は國防、產業の堅い提携を策することによつて日滿議定書の精神を充分に發揮し其前途は洋々たるものである、最後に自分のこの意見に對してサイモン外相はどういふ考へを持たれるかを再問（サイモン）して見たいのだ

米國上院のボラー氏
日支武器禁輸に反對

【ワシントン廿七日發□通】米□上院外交委員長ボラー氏は米□の日支に對する武器輸出禁止問題に關し二十七日左の如く米□の反對を聲明した日支に對し武器輸出を禁止するは却つて軍需工業の發達した日本を間接に援助す

ストック激增で在青島の日本各紡績操短

【青島廿八日發國通】熱河問題後青島に於ける邦人紡績會社のストック激增し、其の結果鐘紡では三割操短を行つたが、之に鑑み日清紡では、操短の場合は、青島に工場を有する各社協定で、同一步調に出度いとの希望を提出し、その結果內外棉、大日本紡、日華紡、富士紡、鐘紡、日清紡の六社協定し操短する事となり、青島の紡績會社は濟南事變後第二回目の非常措置をとる譯だ

るここになる、從つて米國は歐洲各國と協力することには反對だ

中川良長男來滿

【大連二十八日發國通】中川良長男爵は本日香港丸で來連午後十時發奉天に向ふが、約一ケ月半の豫定で滿洲內の政治、經濟、社會全般に亘り視察を行ふと

天氣と氣象

廿八日の氣溫最高零下十一度四、最低同二十二度六、一日…風晴れから曇

雪の大連、奉天間

自動車走破の追憶

文教部　山瀨仙太郎

日時　昭和七年二月十六日午後一時出發
同　年二月十九日午後四時到着
走行哩數　二百九十七哩
所要ガソリン二十七ガロン
使用車二九式ポンテアツク

大連、奉天間の自動車雪中走行は最初から計畫してゐたのではないが、自動車が汽車輪送に都合の悪いのと、もう一つは「何……大丈夫やれる」と云つた樣な意地も少々手傳つて二月十五日急に斷行する事に決心し携帶品や荷物と第一の場合の食料品とを準備して二月十六日午後一時大連の自宅を出發した

□……□

途中下島商店でガソリンを五罐積込み意氣揚々と普蘭店に向つて金州街道を三十哩の速度で走る、旅大間と違ひ良い道路になつてゐる、午後三時半には普蘭店驛前の大連海關監視所へ到着それから自動車の通關手續をしたが價格の點で中々折合が付かない、稅關吏と一談判やる覺悟はしてゐたので僕は五百圓を申告したが先方は千圓、安く見積つても八百圓だと仰言る、三百圓の開きは三割三分の課稅で百圓余りを損するか得するかの瀬戸際だ、そこで持つて行つて轉賣したり利得の爲の商品でなく此車を資本として自分で働く事などの話をして極力同情の押賣をして漸く五百圓でパスしたので百六十圓五十錢の稅金を拂ひ大連關稅行單と云ふ受領書の樣なものを貰つて驛前の松山旅舘に投宿する。先づ今日の豫定は之れで濟んだので食後自宅へ通信した。之れは家族が途中匪賊等の危險を心配する爲め汽車輸送と僞つて出發して居るから……

□……□

翌朝八時半瓦房店に向ふ、途中同地行の支那商人を都合よく見付て道案内を頼む、先方もテクルやつを自動車で行くので大喜び。午前十時瓦房店着右支那人は降りたが同じ店の店員らしい者が松樹まで用件があるから同行しやうと云ふので又案内を頼み十分後には出發した、道は段々悪くなつたが正午には松樹に到着同地の店から今度は五十才前後の主人らしい者が熊岳城まで行くと云ふので同行する事になり十分間休憩の後出發した次から次に無料ガイドが雇へるので都合よく走行を續けてゐるうちに途中から道が段々悪くなつて中々走れない半分位來たと思ふ頃河原に出た、ふと行手を見ると支那人の子供が二三人河原の窪みで寒中水浴をして遊んでゐる、夢だなあと思ひ近寄つて見れば温泉だ此附近には此處彼處に温泉が湧出するそうだ、河原を越してから道の悪い所へ曲りくねつた山坂だおまけに風の具合で雙に雪がふきつけられてゐるので段々進めなくなつて來た近所の百姓を頼み除雪しながら少しづゝ進んでは行くが峠に向つて進む時など五人や六人で後押しても後車輪がスリツプするばかりで中々動かない此時は實際困つてしまつた、五哩進んでは雪を除け十間行つては除雪して行くうちに日が暮れてしまふ。熊岳城の温泉ホテルの電燈が遙かに先方に見てゐるのに車は動かないし近くに人家は無いし心細い事夥しい。同行の支那人林氏が夜分這樣な所でぐずぐずして居ては馬賊に襲われると云ふので益々不安になつて來る止むなく少し離れた村から苦力を雇い除雪作業をやりながら前進を續け漸く午後九時半に熊岳城の城門に着く。城門扉が〆てあつて兵隊が番をしてゐるらしい頼んでも中中開けて呉れない、林氏が日本人が一緒に乘車してゐる事と城内の自分の得意先に行く事情などを説明し右得意先の主人に來て貰ひやつとの事で關所を通過し兵隊四五名附添ひで目的の店へ着いたのが十時半林氏が兵隊に金をやつてくれと云ふので一圓出してやつたら其内の一名がだまつてポケツトに入れた。除雪作業で手も足も水の程に冷へ切つてふるへながら城門の外に一時間も待たされた時は實に辛かつた、後で話を聞けば馬賊の來襲を警戒する爲め夜間の城門は通行させない由、車の處置をしてから暖いオンドルの上に腰を据えてお粥と包子の御馳走になつた時は全く蘇生の思ひがした、考へて見ると未だ全行程の四分の一位より走つてゐないそれに今日の樣な難行苦行では之から先が走行出來るかしらんと聊か心細くなる

□……□

翌朝宿の店員が食事を傳へに來る今朝はいろいろの料理を御馳走してくれた食後林君や宿の主人に好意を感謝しつゝ別れを告げて午前十時半に出發熊岳城を出てからは道は悪いが雪が大分少ないその内大きな岩山の下、アーチ門になつた所を通り抜けてから先はずつと見渡す限りの大平原だ朝日を受けながら愉快にドライブを續ける。正午蓋平着同地は蓋平縣の都、日本で云へば縣廳所在地と云ふ所滿鐵線では一小驛にすぎないが城内の賑やかな事は相當のものだ。雜沓する中を除けしつゝ城内を通過し走行を續け三時半に大石橋着同地は附屬地を通過した大石橋から次の驛分水及他山迄は道路がない滿鐵線路のそば僅かに馬車の通つた跡を行くのだが殆んど畑の中だそれでも雪道を行くよりましだと思つて海城に向つて馬力を掛ける。午後六時海城着驛前大泉旅館に投宿熊岳城から連れて來たガイドに賃金を拂つて返し自宅へ安着の電報を打つ、宿は牛莊へ往復する自治指導部の連中で滿員の盛況振りだ。

□……□

食後明日の行程に付調査したが此地から奉天迄二百四十支里（邦里約四十里）一日では無理でせうから明日は遼陽あたりで一晩宿りなさいと宿の親爺が親切に云つて呉れる前夜熊岳城でギヤボツクスのコンパウンドオイルを凍らせて朝エンジンが掛つてもレバーが動かないのに閉口したので炭火を用意して貰つて早朝車の下に入れるべく準備をしておく翌朝八時半湯崗子に向つて出發。ガイドなしで走行する内同方向に行く一支那婦人を見付けて道を聞けば其者も同じ湯崗子へ行くと云ふ二十才前後の妻君風の美人だ、之れ幸と乘車させようとしたが躊躇して乘らない多分異國の男子と同乘するのは恐しいのか恥しいだらう、それでも道不案内で困つて居る事を話したら承知して乘車して呉れたので朗らかな氣持になつて話しながら車を飛ばす。十時に湯崗子着右婦人を降し走行する内千山附近でガイドを拾ひ鞍山製鐵所の煙突を遠望しながら市中へ這入り鞍山小學校の前を通過し遼陽に向ひ走行する、此附近から奉天迄は到る所馬賊の來襲に備へるため堅固な防備が目立つて來る何處の村も入口には銃を持つた兵士達が五六人で白晝警戒してゐる零時半遼陽城内に入る此處は奉天に次ぐ廣い市街だ城門の入口で荷馬車が輻輳して中々通行が出來ない巡警が懸命に交通整理をする「自動車が待つてゐるのに早くせんか」と云ふ樣子がよく解る感じが好いので擧手の禮をして通行すると二三ぺんおじぎをして答禮して呉れる。之れは海城の宿の主人の話であるが事變前と後とは支那官民の邦人に對する態度がすつかり變つて非常に良くなつたと云ふ事今度の旅行でも人種的の不愉快な心持は少しもしなかつた。自動車が道で動かなくなるとそばで澤山見物してはゐるが決して手傳つては呉れない金をやれば喜んで我先にと手傳ふこれなんど支那の國民性が現れて面白い。遼陽に豫定より一時間早く着いたので此調子で走れば日の高いうちに奉天に到着出來ると思ひ益々元氣を付けて飮まず食わず無休憩で走り續ける丁度現役當時の秋期演習の樣な心持で長驅奉天に向ふ遼陽奉天間は道が良いと云ふ事は前に聽いて居たが事實だ川は大てい氷上を走る岸の高い登りにくい所には高粱橋が掛けてある此橋を渡る時が一番膽を冷す實際危險である簡單な木橋に高粱の殼を積み重ねたぐらぐらした橋で雪除けしても橋幅がせまいので車体がふらふらして車輪が嵌り込みそうになる、遼陽を出發して二時間道路が良いので大分走行能率をあげてゐるのに村落ばかり續いて一向に附屬地へ出ない何の邊まで來てゐるのやら見當がさつぱり付かない電柱も勿論見えない

□……□

そうこうしてゐるうちに有名な渾河に出た大分上流らしい此河がやはり高粱橋なつたがそれはもう文字通り全精神を緊張させ最後の努力を拂つて漸く此長橋を通過し無線電信所の側を通つて三時半に大南門から城内に入る。

□……□

城門を始め道路や建築物の立派な事は流石に故張作霖の全盛を誇つた奉天であると思はせられる午後四時附屬地に無事到着ガイドを返し車の始末をした旅宿へ着。目的貫徹の深い喜びを在奉の友人達と共に味ふ事が出來た、今度の自動車走破で車故障のなかつた事と特に悪道路三百哩を走つてスプリングの折損せなかつた事とパンク一回もなかつた事とは全く天祐だタイヤーを二三ケ所切つたのとステツプを少々破損したのみで人車共異狀がなかつた

附　其後奉天で十日間活動の後關東軍司令部の用命で建國當日の三月一日午後九時奉天發翌二日新京着同日より三十七日間關東軍特務部附となり政府建設の人々の爲め活動し四月八日より總務廳七月末より現在の文教部に働くこととなつた

咸與維新

新京日日新聞社

長白榮厚

祝滿洲國建國一周年

新京旅館組合

滿洲國通信社
里見甫
大矢信彥

大阪每日新聞社
櫻井重義

大阪朝日新聞社
中村桃太郎

新京料理店組合一同

新京
輸入組合

新京
競馬俱樂部

輸入組合
理事 久末吉次

中央通四一番地
榊谷組出張所
岡田實
電話三二〇七番

中央通
菊地工務店
電話三三三一番

中央通
山本寫眞館
山本晴雄
電話 奉天二八五三番 新京二〇四一番

祝町一丁目
滿洲金物株式會社
新京支店

新京大和ホテル
千葉千代吉

八島通二四番地
關東軍酒保
代表 田中幾太郎
電話 二六七九番 三九二七番

中央ホテル
中央通西公園前
電話 三八六〇番 三八六一番

中央通
千葉修一商店
電話 三三八七番 三三八二番

祝町五丁目十四番地
千葉修一商店精米所
電話二四二一番

中央通
國都ホテル
代表 電話四四一五番

中央通三三五
國都ホテル
グリルルーム
代表 電話四四一五番

中央通
林田寫眞館
電話三三一二番

清水齒科醫院
清水信義
中央通

早川齒科醫院
早川武夫

吉野町一丁目
食料雜貨
柳田商店
電話三〇九七番

中央通
さかもと商店
帆足正利

中央通り五〇番地
本田商會支店
本支店 電話三九三三番
旅順、大連、奉天

吉野町一丁目
モモ太郎食堂
電話三三九一番

生そば
丸長
電話 三一四二番 三三九七

東一條通
西洋料理
精養軒
電話二三〇五番

カフエー
赤玉
東一條通

通濟公司
谷口清

東一條通
池畑自轉車店
電話三四二三番

中央通
ヤマキ吳服店
電話三八〇五番

大島洋行
大島巳之助

中央通り
石井亥之吉

濟陽湊
關東軍司令部 酒保

貴金屬商
森洋行支店
中央通
電話三八七三番

中央通り
圖書 雜貨 文房具
大阪屋號書店
電話 二三二一番
振替大 三八〇三番

中央通
寫眞材料商
木村洋行支店
電話三三四六番

東一條通
和洋菓子商
甘泉堂
電話二五〇六番

和洋菓子商
江戸屋
電話二〇七〇番

中央通
大同工業寫眞株式會社
電話三二一六番

變幻黑船往來

寺島柾史（作）　布施長春（畫）

第三十二回

春の草野 (三)

『佐次郎しやま』

チプヌイは、いくぶん甘やいだ調子で、男の名をよんだ。チプヌイの手を握つたまゝ、箱館の紺碧の海に傾けてゐる白軒のこゝろを、おのれに引寄せようと……。

『佐次郎しやま』

もう一度、その名をよんだ。

『はい……いや、どうか佐次郎と呼すてにして下され』

白軒は、やつとこちらを振向いて、笑つた。

『いゝえ、ここだけで、佐次郎しやまといはしてくたしやい。番屋へ戻るとよびすてにいたします』

『なるほど……しかし、こゝでそなたと二人をつても、やはりわしは、そなたの父御に屈はれる漁夫、漁方にたすけられ、その恩義にな

つてゐる一介の漁夫、どうか、われへだてなく、呼びすてにして下され』

『いや、てす』

『おや、どうして？』

『お父しやんが申しました。こんど番屋へ來た佐次郎といふふとはあれは、たゝの漁師や船子ではありません、きつと由緒ある和人にちがひない。オキ、リュイのやうな强い、勇ましい、情深いふとたから、大切にしろ……と』

『ほう、そなたの父御が、そのやうに申されたか……いやそれは恐縮。だが、わしは、オキ、リュイの十分の一も働らきの出來ぬやくざ者、奥州鍬釜から船出した、白石領の政德丸の舟子、その佐次郎にとちがひない。半月前の深夜、箱館に碇泊中、仲間のものと喧嘩して、海へ突落とされたならず者の佐次郎にちがひない。どうか、佐次郎と呼びすてにしてくだされ』

『いゝえ、たゝの舟子てはありませぬ、あんたは、偉い學者てす』

『なに？』

これは、飛んだ觀察をくだされたものだと、白軒はおもつた。

んな世間知らずの娘つ子の口から、そんな言葉が無雜作に出る以上、サンプト番屋中にその噂がひろがり、いつのまにか、注視の眼をもつて迎へられてゐるものにちがひないと、はじめてそれに氣がついた白軒は、チプヌイの柔かな手を、さらに、こゝろをこめて握りしめ、片手で亞麻色の髪をかきあげ、その耳元へ口を寄せた。

『そ、そのやうなこと、誰が申した？』

『お父しやんか、申しました……それから……』

『それから？』

反射的に、せきこんだ。

『佐次郎しやま。あんたをねらつてゐるふとかあります』

『なに！わしを？』

さては、紫園奴が……。いやそれとも氣まぐれ者の藤太奴か、ないしは、あのフランス軍艦甲板で、このおれを追ひつめた乾典膳といふ、惡旗本の成れの果てか……そのいづれかが、このおれをつけねらつて、身邊へ近寄つてゐるのかと……口へは出さぬが、もう安閑としてゐられないとおもつた。

ことに、箱館の海にはもう、フランス軍艦が姿を消してしまつてゐる。望みを託してゐたその黒船が去つてから、十日以上になるのだ。だから、こんな寂れた濱で、ふたゝび廻航するであらうフランス軍艦を待ちうけてゐることは、ほとんど空頼みにひとしいのだ。

しかも、この四五日來、思ひあまつてゐる矢先、失望の白軒を、執念くもなほもつけねらつてゐる人物があるとは……。

『本當です。このわしをねらつてゐるといふのは……』

白軒が、性急にたづねると、チプヌキは、なぜか濃い眉をゆがめて笑つた。

『でも、佐次郎しやま、たいしようぶてす。サンプトの番屋にをれば、そんなこと、しんぱいありません』

祝滿洲國建國一周年

（順序不同）

松岡三雄　森田成之　藤原保明　小原二三夫　森豊　北堀誠　山内丈夫　萬澤正敏　本庄完　豊田良藏　住川五之七　羽根田久一

（順序不同）

竹内徳亥　石井靜人　近藤安吉　都留國武　丹野保次　長尾吉五郎　海村園次郎　大園長喜　村邊繁一　村角克衛　杉本吉五郎

吉長鐵路管理局

（順序不同）

吉田正武　難波義雄　松島鑑　赤瀨川安彦

新京材木商組合

中央通り

春記公司

新京料理店組合一同

新京頭道溝

商務總會

新京學校長一同

新京驛區長一同

四平街之部（順序不同）

山岸守永　四平街地方事務所長

小島憲市　鄭家屯領事館事務所長

上野一郎　四平街販賣事務所長

飯島慶藏　四平街警察署長

若林邦敏　四平街憲兵分隊長

闞鐸　四洮鐵路管理局長

周潤堂　八面城商會會長

八面城日本居留民會　四洮線八面城

四平街日滿特產物商聯合會

華興電氣公司　鄭家屯

梨樹縣公署職員一同

趙漢臣　四平街商務會會長

尚瑤增　四平街商務會副會長

祝滿洲國建國一周年

時計 貴金屬 寶石
中谷時計店
日本橋通一九 電話三八五四番

三宅牧場
三宅濱治

長春洋火工廠
佐藤精一

陸軍諸官衙御用商
田中商會新京支店
電話三四五八番
本店 旅順乃木町三丁目
支店 奉天平安通十一番

祝町三丁目
三興洋行
電氣工事一般 設計監督請負 並ニ電器機具 修理販賣
淵上高市
電三八七七番

滿鐵新京販賣事務所

新京
商通組合支局

日本橋通
大陸窯業株式會社

新京金融組合

祝町
弘津安五郎

日本橋通
平本洋行
電話二一五八番

三笠町三丁目
三省堂製本所
電話三三三四番

朝日舍
栃尾幾太郎
電話二三四二番

三笠町二丁目
高等製靴
竹屋靴店
電話二〇五二番

西村洋行
西村清兵衛

高級玩具
日之出
日本橋通り 電話二七二二番

北原紙店
電話二四〇一番

諸印刷
濱木活版所
電話二二四八番

カフエー日本橋
日本橋通り

祝町中央公館隣
食道樂
青柳
電話三〇九〇番

日本橋通り
すし竹食堂
電話二七二四番

祝町二丁目
銘酒 月ケ瀬
森川酒店支店
電話三八〇八番

新京美粧倶樂部
新京百貨店二階八號室

阿川組水道部
稻木耕多

東一條通
天野商店
電話二九二五番 二九六七番

吉野町
廣春洋行
電話三〇五二番

吉野町
大和藥房
電話二九七一番

和洋樂器
吉野屋樂器店
電話三〇六八番

峰下商會
峰下一郎

新京地方委員
平山繁光

大信組
赤羽一二

日本赤十字社支部
星熊太郎

新京地方委員
宮崎竹次郎

新京地方委員
孫化南

日鮮貿易精米所
電話三三一七 三二一九番

東華洋行
伊藤正夫

牛ねり 帯〆類 綿糸類 小間物一式
吉野町
(カ)商店
電話三〇九二番

綿商
中村商店
電話二一六一番

吉野町
小林履物店
電二三四四番

建築材料
船越洋行
電二六四一番

和洋雜貨 滿鐵醫院前
大葉商店
電二六七四番

蝶屋
電二七二〇番

茶と陶器
河久商店
電三二〇四番

カフエーミカサ
電二八六〇番

生そば
丸長
電話三二四一 三三九一番

日本橋通り
市場食堂
電三三一三番

奴すし
電三三八〇番

全食堂
電二四三六番

西五馬路
御會席料理
三福
電三八七九番

生そば
丸善
電三二二四番

食料雜貨
梶原洋行
電二二五五番

日本橋通り
みしまや
電二五三五番

祝滿洲國建國一周年

新京地方事務所長
荒木章

新京鐵道事務所長
青木信一

新京地方事務所
稲葉賢一
荻原準
伊東權吉
增田增太郎
小林廣次

新京警察署長
高山勝司

新京郵便局長
市川薫

新京地方事務所
社會主事
伊藤忠

東洋拓殖株式會社
渡邊得司郎

國際運輸株式會社
新京支店

大阪商船株式會社
大連、奉天、新京

吉野町一丁目
長春窯業株式會社
電話三八七一番

大滿洲國建國一周年記念日ノ佳辰ニ當リ上下和衷ヨク王道爲政ノ本義ヲ發揮シテ國礎鞏固ヲ加ヘ其隆々タル國運ノ伸展ヲ祝福スルト共ニ懐シキ國都新京ノ無限ナル發展ヲ衷心ヨリ慶賀スル所ナリ庶ンデ慶祝ノ意ヲ表ス
三月一日
在東京 長春會

吉林第二監獄署典獄長
陳德正

新京地方檢察廳廳長
閻鐘鳴

新京地方法院

吉林陸軍醫院院長
孫伯彝

滿洲火柴公賣承辦處
四戸友太郎
新京北大街
電話二三六三番

日清燐寸株式會社
吉林燐寸株式會社新京支店

和洋食料
調辦所
電話二〇七三・三五三番

中古自動車賣買
解体部分品販賣
滿洲商會自動車部
新京中央通り警察署前
支店 哈爾賓中國二道街二三

日本橋通曙町角
御料理 月桂冠
電話二三二四番

三笠町二丁目
ライオンカフェー
電話二三七九番

新京郵便局員一同

大和通十八番地（電話三六二二番）
大同醫院
黄子正
黄樹奎

新京頭道溝新厦馬店
經理 金孟賓
住吉町五丁目四

西四馬路
撫順コークス一手販賣
日新公司
日吉德藏
電話二三八一・三八九八番

三笠町一丁目
安利齒科醫院
電話三二六二番

東京生そば
天金
電話二五四五番

新京構賣店
久保田商店

美術印章彫刻
文古堂
吉野町一丁目
電話三一四五番

三笠町一丁目二
野中産婦院
電話二三〇一番

新京驛前日之出町一丁目二番地
福順棧
電話二六九・二八二二番

新京日本橋通四番地
旅館、運輸
日升棧
電二〇七六、二八九二番

新京驛前日之出町一丁目十番地
旅館
悦來棧
電話三二一一番

新京驛前日之出町一丁目十四番地
東發合
電話二五三二番

東五條通六番地
東永茂糧業

新京鐵道北
大同糧棧
電話二六六九番

三笠町八丁目四番地
巨昌棧

新京驛前東一條通四番地
合興公司
電話二四五二番

特產商代理業
三泰棧
日之出町六丁目
電話二三七七番

新京東五條通二番地
永衡通
電二一六四・二八八八番

高砂町七丁目二番地
裕成湧
電話二二一四番

長春驛前東二條通二番地
恒順泰

住吉町二丁目
通吉棧
電話二七一八番

日之出町六丁目一番地
萬源滙
電二八八二・三四二四番

新京
福順厚製粉廠

燒鍋業
洪發源
電話二四〇八番

祝満洲国建国一周年

食料雑貨
今田商店
電話二九三三番

博多屋質店
祝町二丁目

食料雑貨
三浦洋行
電話二五六七番

特產
權太商店
東五條通　電話二六三〇番

吉野町二丁目
世帯道具
酒井商店
電話二四六四番

おすしお辨當
三咲屋
吉野町一丁目　電話二三二二番

精米商
唯一公司
電話三三七五番

長崎屋洗布所
電話三二八七番

吉野町一
阿曾時計店
電話二五七四番

花環造花
祝町二丁目
尚華堂
電話三四〇三番

三宅提灯店
電話二六四八番

東二條通
岡本鐵工廠
電話三一九二番

兒玉疊商店
兒玉繁太郎
電話二九二七番

疊
鶴殿兄弟商會
鶴殿長壽惠

吉野町二丁目
豐泰號靴店
電話二九三七番

山本羽根蒲團店
吉野町二丁目

ミツワ屋書店
電話二三三一番

新京美容院

吉野町二丁目
呉服商
ちちぶや
電話二九七一番

日本橋通
和洋雑貨
現代號
電話二一八八番

東一條通
食料雑貨
森川商店
電話三〇七五番

新京興信公所
所長
清水末一

千鳥町一ノ一
上田賢象
電話二五二七番

老松町
辯護士
辯理士
大原萬千百
電話三九三七番

東亞煙草會社新京駐在員
中山佐四郎

吉野町一丁目
食料雑貨
石堂商店
電話二七三三番

滿鐵總務部

石本憲治
林顯藏
中野忠夫
土肥顓
宮本通治
廣崎浩一

監査役
林田精一
三輪環
佐久間章

審査役
田所耕耘
谷川善次郎
由利元吉
西田猪元輔
佐藤達三
山鳥登
粟屋秀夫
伊藤武雄

計畫部
根橋禎二
右近又雄
岡村金藏
深水壽

經理部
市川健吉
橋戎子郎
長山七治

鐵道部
羽田公司
清水賢雄
白井喜一
伊藤成章
山口十助
猪子一到
野中秀次
郡新一郎
吉富金一
山岡信夫

地方部
中西敏憲
富田租
多田晃
有賀庫吉
星野龍男
香村岱二
千草峯藏
植木茂

商事部
武部治右工門
清水豐太郎
前田寛伍
弟子丸相造
三構又三

大連海上火災保險株式會社
村井啓二郎

大連埠頭事務所
關根四男吉

大連鐵道事務所
江崎重吉

大阪商船大連支店
高見三吉

大連市役所
小川順之助
岡野勇
近藤誠久

小林又七支店
太田信三

沙河口警察署
原田貞一

大連大和ホテル
寺澤常龍

滿洲モータース
葛和善雄

大連自動車株式會社
馬越久一

南滿電氣株式會社
入江正太郎
石橋米一
古泉光男
末綱胖
栗山藤二
賀來之憲
前川和
中村繁次

國際運輸株式會社
簗島信司
野木定吉

南滿瓦斯株式會社
白濱多次郎
志村德三

福昌華工株式會社
松山卯八
宮井隆次

株式會社福昌公司
相生由太郎
相生常三郎

大連汽船株式會社
增田義男

大連機械製作所
森川莊吉

建國當時の想ひ出の數々
東北行政委員會の開會から溥儀長春入りへ

乾坤一轉！滿洲建國一週年を迎へ、國礎いよいよ固く其前途は洋々たるものがあるが顧れば今日までの迂余曲折走馬燈の如く追憶される滿洲國が新國國として

『眼鼻』のついて來たのは去年二月二十五日の午後であつた當時まだ新國家滿洲國を生み出した東北行政委員會は奉天省政府内に置かれてあつた、當時の記録を辿つてみると委員長張景惠氏以下委員は同日朝來省政府内に參集し鳩首凝議の結果午後四時を期して東北四省に左の五項の通電を發した

一、新國家を滿洲國と呼稱す
二、新國家の政治は民本主義に據る
三、滿洲國の元首を執政と稱す
四、滿洲國々旗を新五色旗と呼稱す
五、新國家成立同時に年號「民國」を廢し大同と稱す

右の如くで更に其説明として執政は人民が推戴立憲制に據り統治す政治は民本主義に據る、將來民意に基き憲法を制定す執政々治は憲法制定に至る迄の統治形體とするとあつて五章三十四ヶ條の滿洲國組織法が公布された、それから三日目の三月一日を期し世界史の一頁に光彩を放つ滿洲建國の宣言が發表された其時は

『既に』長春奠都と決定して穩かに準備を進められてゐたのでおつたさうしてそれが順調に運び宣統帝溥儀氏を長春に迎へたのは八日の午後三時であつた、それから翌九日に執政就任式を現在の國務院會議室で擧行された此日首都長春の空は薄曇りであつたが城内外附屬地は慶祝氣分充ち滿ち嚴重な警戒網は式場の内外に張られてゐた、然しその任に當る軍警の面上もこれまでのやうに暴虐 權化のやうな相貌でなく、敬虔そのものゝやうに緊張して見られた式場は十ヶに十五間のあの正廳に花絨緞を敷きつめ、正面一段高く執政の席がこしらへられ背後は燦たる金屏風が立てめぐらされて向て左側は滿洲國側首腦部右側には日本側階席者

『席が』設けられ各省文武官各省區民衆代表、關東軍司令官守備隊司令官、滿鐵總裁その他日本側要人威儀を正して着席、三時十分奏樂裡に賀禮官の先導でモーニング姿の溥儀氏が文武の扈從を後に正面入口から

『肅々』と入場着席 日本側階席者は起立した最敬禮を行ひ滿洲國側は一同三鞠躬の敬禮を行つた之に對し溥儀氏は一鞠躬の禮を以て答へそれからいよいよ璽を進むる最も莊重な儀式で賀禮官が捧げて案上に置かれた黄色の包を恭々しく溥儀氏に捧げた一つは滿洲國の國璽、一つは執政の印であるそれが濟むと行政委員會代表の賀辭内田滿鐵總裁の祝辭があり之に對し別項の如く執政溥儀氏が答辭ならびに宣誓を各代理が代讀し息づまるやうな嚴肅な式を終へ溥儀氏は禁衛軍樂隊の奏樂裡に便殿に入り少憩間もなく溥執政は文武官を從へて内庭に出で記念撮影を行ひ次に國旗掲揚式で壇上高く樹てられた柱に溥執政の手により引かるゝ綱で滿洲國の新五色旗はスルスルと竿頭高く飜へり茲に日出度く青史に輝く滿洲國の礎は固められ元首の推戴を終つたので別室で參列者一同一觥の杯を擧げ滿洲國萬歳元首萬歳を唱へ、軍樂隊は瀏喨たる喜びの曲を奏し、長春城内外から附屬地一帶は

『歡喜』の渦を捲き祝賀飛行の傳單を降らし新國家慶祝の氣分が滿ち溢れた、

執政宣言

人類は須く道德を重ずべきに種族の別あり則ち他を抑制し己を拜揚す其道德たるや甚だ薄し、人類は須く仁愛を重んずべきに國際間の爭ひあり則ち人を損じ己を利す其仁愛たるや甚だ薄し今我國を建立するに當り、道德仁愛を以て主となし種族の別及國際間の爭を除去せば正に王道樂土の實現を見るべし、凡そ我國民たるもの努めて之を勉勵せよ（鄭孝胥氏代讀）

執政答辭

我東北三千萬民衆が滿洲國立國の宣言せし以來余に再三國家執政の攝行を乞はる惟ふに滿洲は余の祖宗發祥の地として茲に重ねて推戴を受け意に辭退し難く已むなく之を受諾す今日大日本司令官滿鐵總裁閣下並に貴賓各位に御來臨を忝ふし御鄭重なる祝辭を受け感激に不堪、余德薄くして才鮮し只管期待に副はざらんことを懼る願くば國交を親睦にし民意を尊重し、外に對しては私を輯め以て東亞の榮光を發揮せしめんとす、是れ則ち各位と共に欣快とするものなり茲に謹んで答聞す（羅振玉氏代讀）

祝満洲国建国一周年

祝満洲国建国一周年

滿洲醬油株式會社

株式會社大信洋行新京支店
村上照

榮光永久ニ燦タル大滿洲ノ
建國壹周年ヲ謹テ祝シ奉ル

靴ト鞄

大長洋行

大經路第三市場二十號電話三七三七番

林洋行
林金次

新京三笠町三丁目
松田洋服店
電話二二四六番

吉野町二丁目
エス・ヤ洋服店
電話二六一九番

イラオン百貨店
赤木洋行
電話二二七三番

吉野町二丁目
横田洋服店
電話二一四八番

高級美術寶飾
金華號
本店大連市山縣通　支店新京日本橋通

資本金一億圓（全額拂込濟）
三井物產新京支店
本店　東京日本橋通り

和洋菓子
峰長春堂
同市場支店
吉野町二丁目
電話三一九一番

雙發洋行
印刷部　電話二八三四番
電氣部　電話三八二三番

德喜林業公司
彼末德雄

すみ安商店
麻生磯平
電話三〇六六番

サロンモナミ
新京東二條通　電話二九三〇番

滿洲航空株式會社

瀧竹三郎

報知新聞新京支局長
中西眞

新京
市場株式會社
同賣店組合

和洋雜貨
金泰洋行
電話三三五八九八番

待望日は遂に來た！

建國の春を壽ぐ けふの慶祝亂舞曲

珍奇な假裝行列や高足踊り等 繰出される繪卷物

けふは吾滿洲國に取つて記念すべき一周年の佳き日だ、三千萬民衆が待望の日が遂に來たのだ民政部前廣場では盛大な式典が行はれるがこれが終ると日滿合作による旗行列が二萬の

「大衆」によつて軍樂隊を先頭に繰り出されるのである、軍人、官吏、學生、各種團体、その他一般民をも加へて蜒々長蛇の列をなし五色旗をふり／＼滿洲國歌を高らかに唄ひながら市中を練り歩く、やがて執政府前に至りこゝで聲を限りに萬歳を三唱して解散することになつてゐる一方商務會を中心に假裝行列の計畫があり、高足踊、龍燈會、船會などの催しが面白おかしく演ぜられ花自動車も

「運轉」されるはずで、これらはいづれも城內から附屬地へと限りなく行はれ、首都新京はこの日ぞ全く慶祝氣分に溢れ終日稀有の賑ひを見せるであらう

旗行列順序

なほ市政公署主催の旗行列は二隊に分ち左記順序により行進することになつた

△第一隊―民政部前の會場出發―大經路―中央通―吉野町日本橋―七馬路―務院―永長路―興運路を經て執政府で解散

△第二隊―民政部前の會場出發―大經路―二馬路―大馬路―附屬地―東六馬路―を經て執政府で解散

執政の「ラジオ放送」

建國一周年の記念日に際して教書の詞

我が滿洲新國の成立せしより轉えず已に一年を經過し了りぬ、予は久しく政治に關係せざりしが去年三月三千萬民衆代表の推戴に因て此の新國家に來り其政權を執るに至りたるは民衆の困苦艱難を念ひ努力して國事を擔任せんが爲めなりき、爾來只管に其の職責を盡さず民衆の希望に副はざることを恐れしが幸ひ友邦日本の充分なる援助を得たる上に我國の大小官吏も亦皆一樣に同心協力して積極的の進行を圖り、內外大小の行政機關は都て系統的に組織され各部分擔の事務は皆夫々に進行し從前民衆が軍閥より受けたる苦痛即ち不法の徵稅不換紙幣の濫發の如き一歩一歩其整理改良が講ぜられつゝありし際に、乃ち日本の正式承認を受けたるため、世界各國の孰れも我が建國の事實を知らざるものなきに至れり、畢竟是れ我が三千萬民衆が心を一にし志を同じて建設に努力したる結果にして若し左る熱心のなかりせば到底斯る好結果は得られまじく洵に歷史上にも稀有の事跡と謂はねばならぬ

×

豫は想ふ現代の國家は皆法治國にして立ち國家の基礎の十分に堅實なることを、豫れ職に就くの時曾て發表せるは一年內に憲法を制定し國體を決定せんとし希望なりき、我が滿洲は舊き歷史を有する國土なり、今此の重大なる建設事業を前にして如何なる憲法が滿洲舊來の國情に合致すべきやは最も考慮を要する問題にして、要は三千萬民の總意を出たるものならざるべからず然るに此の一年間は或は叛軍の事變あり、或は土匪の治安を擾るあり加之未曾有の大水害に濟遇し政府も地方の官公署も騷亂し鎭定と救濟事業とに沒頭し殆んど憲法を顧慮するの暇なかりき、然れども憲法は立國の根本なり假令此の一年間に其制定の暇なかりしにもせよ豫は此儘に放過して責任を免かるる所存に非す、

今や建國の第二年は開始されたり速かに憲法制定の準備を整ふること實に當務の最も急なるものである

×

更に特に我が民衆に戒告すべき切要なる心得としては我が滿洲民族には人生の模範たるべき舊德がある此の原有的な貴重なる精神を尊重して近時流行の過激なる議論に煽動されて道德觀念の動搖を來たさゞることと更に近代の狹隘なる民族競爭の說に迷はされて相互扶助の精神を忘却し民族の親睦を圖らず博愛の天理に負くが如きは最も之を戒めざるべからず、而して一黨一系を標榜して專制的に政治上の紊亂を惹起するが如きは予の絕對的に反對を表する所なり、治安問題に至りては匪賊猖獗の如き是れ究竟目前の應急處置に外ならず根本は一に政治の良否如何に在り政治にして不良ならんか土匪は永久に其の迹を絕つことなから

へし、我が滿洲國の天然資源は實に豐富なり是が開發には其の全力を注がんとす我が民衆の實生活に對し生命の原泉を開くべき重大なる關係を有するからである

×

以上總括して之を言へば我が滿洲新國なるものは只其表面上の國號のみにては何等建國の意義をなさず、其內容の充實ありて始て建國の意義あり

精神あるものなり今日より後進の行くべき事業は益々多く益々重し我が民衆にして新建國の責任を放棄せず遠大なる理想の下に眼光を放ち刻苦勉勵して大業の完成に勇往邁進せば我が國家は自然に興隆することを斷じて疑を容れず、斯くてこそ予も其衷心に愧つる所なし、全國の父老子弟に熱望して已まざる次第である

三月

啓蟄 六日
彼岸 十八日
春分 廿一日
社日 廿三日

やよい 花咲月 暮春

滿洲國 一日
外國祝祭日 廿五日 ギリシャ國際日

（行事）
一日 東京帝[illegible]記念日、雉子、山鳥、捕獲禁止
三日 雛祭
五日 義士切腹記念
六日 地久節
七日 摩耶詣聖科祭
十日 陸軍記念日、金比羅大祭
十三日 春日祭（大和）
十五日 梅若忌
十六日 廣田祭（攝津）
十八日 彼岸入、宇佐神宮祭
廿一日 春季皇靈祭 大師廻り
廿四日 各學校年末休暇
廿五日 北野天神忌、蓮如忌
廿六日 各學校に於ける卒業及進級式

熱河の征討軍は刻々に捷報を傳えてゐる

×

滿洲國は國を擧けて建國の慶祝に醉ふてゐる

×

「家鴨の子水に親しむ春日かな」と詠んでゐる內地の春をよそに、滿洲の春はまだ遠い

×

でも道ゆく人の防寒帽の毛皮がソフトに代り、毛皮の外套がいつとはなし薄手のラクダに、午下りの西公園に子供連れの熊に戲れる一群が見受けられる

滿洲國經濟建設の大方策全く確立さる

世界に類なき新經濟組織で きのふ聲明書發表

滿洲國政府では同國將來に於ける經濟建設について研究審議中であつたがいよいよこの方策を確立するに至り二十七日の國務院にはかつてこれが決定を見たので、二十八日午後二時を期し東京及び新京においてたの綱要を聲明書の形式を以て發表した、その內容は別項（連載）の如く十節より成り極めて廣汎に亘る同國の經濟建設に關する一切を網羅し、世界に比類なき新經濟組織を完成して王道政治の實現を期せんとする極めて重要なるものであり、建國一周年記念日に際してこれが中外に宣布された、ことは誠に意義深きことであり、時宜を得たものといはれてゐる

聲明書發表に際し 張實業總長談

茲に建國一週年紀念日をトして滿洲國經濟建設に關する聲明が中外に宣布せられたことは誠に意義深いことと信ずる本聲明書の內容は經濟建設工作の一般的設計圖であり

「從來」先進諸國に於ける政黨が發表した樣な抽象的方針でなく十節十九頁を費し經濟各部門に亘り建設の目標を高く明示したのみでなく出來得る限り數字を織り込みて計畫の輪廓を髣髴せしめた所に特色がある就中先進諸國に於ける無統制なる資本主義の弊害や敗に鑑み國家國民永遠の繁榮と幸福とを基調として世界に比類なき新經濟組織を完成し以て我國建國の

「使命」たる王道政治の實現を明してをる所に新國家の明朗な矜が躍動して居るのである斯る意義ある聲明書が或は政治機構の改革に或は幣制財政の確立に或は匪賊肅清治安維持に隆々たる業績を擧けたる建國第一年に續いて今日全世界に聲明せらるゝことは頗る時宜を得たるものと謂はねばならぬ、抑々國經濟建設に關する方策を確立することは相當困難な事業であつて蘇聯邦に於ては革命前七年を要し

「伊國」に於ては「ムッソリーニ」政權獲得後四年を費して居る況んや民國の如きは革命後二十年を經過した今日尚未だ舊態依然として經濟建設に關する確固たる方策がない然るに我滿洲國が建國一年にして斯る重大なる政策を中外に聲明し得ることは如何に滿洲國が健實なる步調を以て發展の一路を辿つて居るかを如實に物語るものであり、之を促けて健全なる發展を遂げしむることが東洋平和の唯一の途であり且東洋民衆をして遍く

「惠澤」に浴せしむる所以でもあり、國際聯盟が此の明白なる事理を敢て無視せんば偶々以て聯盟が我國情の認識の不足を天下に公告することになり其の動機は別とするも其の結果に於て聯盟に東洋平和を攪亂し民衆の幸福を犧牲にする爲の存在としか認められないことになる、我等は聯盟の蒙を啓く爲にも一致協力我國經濟建設工作の完成に向ひ一路精進せねばならぬ

今や建國一周年紀念日に際し茲に經濟建設の方針を確立し健實なる步調を以て此の理想實現の歷史的大事業に第一步を踏出さんとす、素より爲政の事たる多言を取らず只實行にありと雖も經濟建設の大業は確固たる方針周到なる計畫と共同一致の努力を以てするも猶は至難の事に屬す。されば茲に敢て其根本方針並建設計畫の綱要を示し官民協力實行適進の規準と爲す

而して本綱要は永年に亘る大計なるを以て近き將來に於て特別に計劃を策定し之を公表するところあるべし

第二、經濟建設の根本方針

我國經濟の建設に當りては無統制なる資本主義經濟の弊害に鑑み之に所要の國家的統制を加へ資本の效果を活用し以て國民經濟全体の健全且つ潑溂たる發展を圖らんとす斯くして國民大衆の經濟生活を豐富安固ならしめ其の國民的生活を向上し我國力を充實し併せて世界經濟の發展に貢獻し文化の向上を計り以て建國の大理想たる模範國家を實現するは經濟建設究極の目標なり右の目標に到達する爲め次の四大根本方針の下に經濟建設に適進するを要す。曰く國民全體の利益を基調とし、利源開拓實業振興の利益が一部階級に壟斷さるるの弊を除き萬民共樂ならしむるを以て方針第一とす、曰く內の賦存の凡有資源を有效に開發し經濟各部門の綜合的發達を計る爲め重要經濟部門には國家的統制を加へ合理化方策を講ずるを以て方針の第二とす曰く利源の開拓實業の獎勵に當りては門戶開放、機會均等、精神に則り廣く世界に資本を求め特に先進諸國の技術經驗其の他凡有文明の粹を蒐めて之を適切有效に利用するを以て方針第三とす、曰く東亞經濟の融合合理化を目途とし先づ善隣日本國との相互依存の經濟關係に鑑み同方との協調に重心を置き相互扶助の關係を益々緊密ならしむるを以て方針第四とす、彼上の四方針は經濟建設の根本方針たるを以て凡有の場合に徹底遵奉し其の完成を期するものとす

祝辭

關東軍司令官 武藤信義

大同二年三月一日、滿洲の天地、生氣橫溢し、光明充滿す。維れ、建國の一周年紀念日、都邸、大に盛典を擧け官民、齊しく維新を謳ふ。惟ふに、滿洲の國土は、天の新民に賜ふ所なり。三千萬衆皇天を拜して新國を建つ。宣言して曰く、王道を國土に布かん、友誼を四海に厚くせんと、茲に暮年なり。皆己に違ふ所無し。列國、實狀を諳らず、聯盟理義に昏く檢討し盲動して、終に承認を吝む。

天道昭たるあり、滿洲道有らば民自ら榮えん、若し道無くんば國自ら亡びん。天に順ひ人に適へざらんことを之怖るゝのみ、亦列國と聯盟とを恐るゝこと莫し。

夫れ、外に患あり、內又建設の難なきに非す。然と雖も正義猶存するを誰か疑はん。況んや、俊德の人、政を執り、練達の士、局に當るあるをや。前程洋々、期す可く待つ可し。茲に建國一周年を迎へ、喜悅自ら禁する能はす。所懷を披瀝して祝辭と爲す。

新興滿洲國の正しき映畫紹介

松竹キネマ乘り出し

〔大連廿八日發國通〕皇軍第一線の活動の正しき紹介による國論の喚起更に從來外國映畫を通じ誤り傳へられてゐた滿蒙認識の是正を期して、映畫報國を目指す松竹キネマのニュース班六軍氏外三氏は日本入港の香港丸で着連、一兩日大連滯在の上奧地に向ひ撮影に着手するが、六軍氏は語る

關東軍支援の下に第一線に於ける皇軍の活躍、建設過程にある滿洲國の狀況、產業、風習等を撮影して內地常設館に上映、國論喚起に努めるのが今回渡滿の第一目的です、更に將來新京に支社を設置し滿洲國人の監督、俳優を養成し、純然たる滿洲映畫を製作しこれを內地に上映して日滿親善に資する爲めその調査も兼ねてゐます

又松竹で新京は東京の淺草大阪の道頓堀のやうな歡樂境を作る計畫も大分進んでゐますから近く白井重役が來滿して具体化するでせう

滿洲國經濟建設綱要 (一)

第一、序說

我が滿洲は舊東北軍閥秕政の跡を受け、昨年三月高邁なる理想の下に建[illegible]し爾來滿一年內外眞に多事多難なりしと雖も、內は權力作日の暗黑政治を廓清し諸般の法律制度を改善し政治機構の基礎を固め幣制並に財政の確立を計ると共に一方匪禍の肅清治安の維持に努め、外は獨立國家として善隣との友好關係を深厚にし國際的地位の向上に努力し來れり　抑々建國の本義は一に順天安民にして之が具體化は、三千萬民衆の樂土實現にあり

ちどりの姐さん達が 二百圓を提供

熱河出征軍の慰問に

廿六日新京憲兵分隊に富士町二丁目の料亭ちどりの藝妓一同を代表して千代吉、小又二名が、出陣酷寒の熱河に苦鬪する皇軍將士慰問の資の一部にもと女將板前藝妓等の心からの寄附金二百圓を差出し斡旋方を依賴し分隊長以下一同を感激させた

鐵道移民團

先發隊四十六名着連

〔大連廿八日發國通〕鐵道省より滿鐵に轉じた鐵道移民團は五百家族に及び三月中旬までに各便船毎に來滿するが、その第一班山本司以下四十六名家族を合し一行百九十四名は本日香港丸で鐵道部當局の出迎へを受け上陸、休憩所館西旅館に入つた、大連勤務者二十一名を除き殘部の沿線勤務者は本日午後十時特列車で任地に向ふが山本氏は語る

我達は從來仙臺鐵道局管內の郵送事務に携つてゐたもので今回滿鐵に採用して頂き日本の生命線たる滿蒙の第一線に働くことゝなり喜び勇んでやつて來ました

祝滿洲國建國一周年

參議府一同

國務總理兼文敎部總長　鄭孝胥
立法院長　趙欣伯
民政部總長　臧式毅
外交部總長　謝介石
軍政部總長　張景惠
財政部總長　熙洽
實業部總長　張燕卿
交通部總長　丁鑑修
司法部總長　馮涵清
民政部次長　葆康
軍政部次長　王靜修
財政部次長　孫其昌
文敎部次長　許汝棻
國務顧問　宇佐美勝夫
總務廳次長　阪谷希一
法制局長　三宅福馬
興安總署總長　齊木特色木丕勒

新京特別市長　金壁東

新京醫師會

同仁醫院　市橋貞三
普生堂醫院　河野五百里
杏林堂醫院　中島信之
中市醫院　中市一雄
福島醫院　福島一郎
堀山醫院　堀山研作
松本醫院　松本要太郎
槇醫院　槇吉治　（五十音順）

滿鐵指定石炭販賣店

松茂洋行　電話二〇四二・二五三七番
大昌煤局　電話二五三九番
裕新公司　電話二三一三番
仁和洋行　電話二五八二・三四七一番
泰利號　電話三六九・三七六〇番
加藤洋行　電話二〇三三番
泰山行　電話二一五六番
新泰洋行　電話二二九七番

滿洲國中央銀行

總裁　榮厚
副總裁　山成喬六
理事　鷲尾磯一
仝　吳恩培
仝　武安福男
仝　劉燏棻
仝　五十嵐保司
仝　劉世忠
監事　闞潮洗

新京滿鐵醫院一同

滿洲協和會

會長　鄭孝胥
理事長　張燕卿
中央事務局長　謝介石